

2025年6月28日 矢作川流域圏懇談会フィールドワーク

弱い私たちが、つながりあい、まざりあい、かかわりあう
安心して産まれて生きて死ぬことができるコミュニティになるモノガタリ

地域に向き合う つくラッセルの挑戦

つくラッセル推進コンソーシアム 代表機関 株式会社M-easy 代表取締役 戸田友介

本日の話の流れ

- ・ 自己紹介
- ・ 廃校を活用したつくラッセルという場のありかたと成り立ち
- ・ 私たちの今につながる地域から学んだこと
- ・ つくラッセル界隈ではどんな取り組みが広がっているのか
- ・ コミュニティもビジネスも支えるつくラッセルの機能

プロフィール

氏 名 戸田 友介 (トダ ユウスケ)
居住地 愛知県豊田市旭地区 (旧東加茂郡旭町)
2010年10月に移住
年齢 43歳
家 族 妻、長男14歳、長女11歳、次男10歳、次女6歳
座右の銘 天命に安んじて人事を尽くす



想いを綴るnote公開中 https://note.com/yusuke_toda

地域で暮らす、はたらく、くらしごと

株式会社M-easy 代表取締役 (人材創造拠点つくラッセル運営)

株式会社あんじゃない 代表取締役 (地域密着型デイサービスあんじゃない運営)

ニュースとミルク 戸田販売店 代表 (旭と小原の新聞と牛乳販売店運営)

一般社団法人おいでん・さんそん 代表理事 (おいでん・さんそんセンター運営)

一般社団法人里モビニティ 代表理事

株式会社きく結び 取締役顧問 (訪問看護ステーションかえるの家運営)

他にも、こんな役目を担ったり所属しています

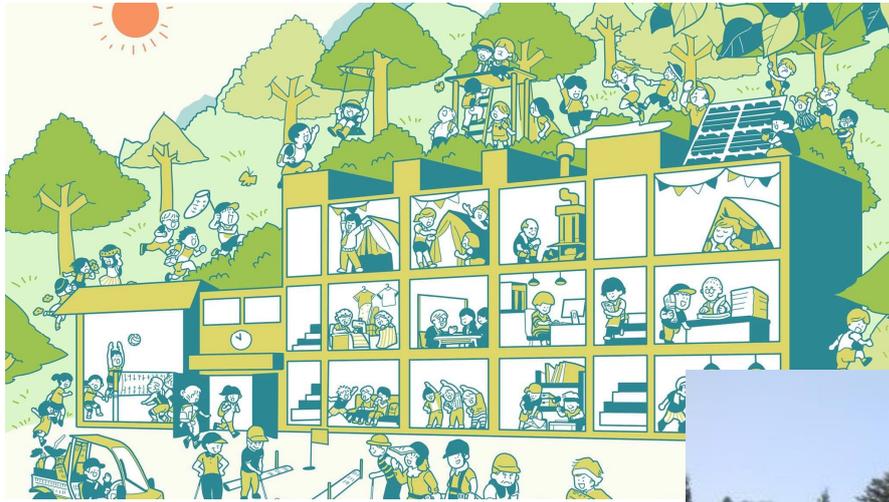
築羽自治区広報部長、耕Lifeアドバイザー、豊田市市民活動促進委員、

旭・小原商工会員、豊田市消防団第九方面隊第四分団所属、伯母沢流笛太鼓保存会、旭しょうゆづくり会、

山里ひとなる塾塾長、山里合唱団「こだま」団長、旭木の駅プロジェクト実行委員会 事務局

NPO法人みち 理事 (障がい者就労継続支援B型事業所よりみち運営)、公益財団法人豊田都市交通研究所理事

*株式会社M-easyは、2003年4月に名古屋大学の学生で起業したベンチャー企業からはじまりおかげ様で22周年。



廃校を活用したひとからはじまる場所づくり

つくラッセル

2018年4月オープン

老若男女、移住者も、地域の人もゆるやかにつながりながら、つどい、はたらき、つくる場にしたい



私たちの目指すありかた

居心地よく、機嫌よく、生きて死んでいきたい

そう思って、自分の人生と地域を重ねて動いていたら、さまざまな営みが生態系のように広がっていきました。



つくばマレットゴルフ場









地木塾
組木の駅プロジェクトで集まった材を活用し、薪割りと薪ストーブ販売店(DLDさん)への新配達サービスを行っています。また「焚付の前」や「職方の前」として小売り販売をしています。

竹々木々工房
里山にある資源を活用し、本格的な山小屋で暮らす活動をしています。現在は竹藪に目を向け、間伐材やブクリに取り組みんでいます。

KIDÉE 園工室
つくラッセル木工、大工部門担当。木とアイデアを活かし、地域と社会のつながりを創ります。Think locally, Act locally をモットーに学びも地道に創っています。

間伐材木工研究会 園工室
自らも間伐材プラントアとして活動。間伐した材を位置するのではなく、先人が植えた木を大切に使い、木の持ち味を生かした製品作りを目指し活動しています。

木と木の心 (同) 木かんしゅ
「薪ストーブ」うちにもつけられるから、今まで設置できなかったご家庭でも、導入しやすさを提供しています。地域の森林資源の有効活用を目指しています。

木と木の心 (同) コレカラアーズ
地域密着型サービスあんなじゃない。地域のなかでみんなが機嫌よく年を重ねている時間を1年につづいていきます。

木と木の心 (同) アサノ エンタープライズ
イベント等の事業を中心に、事業展開しています。挑戦と失敗を繰り返しながら、少しずつ成長しつづけることを、それから必ず、旭の一企業として、地域の中で事業をつづけていきたいです！

まわりあいまわりあう場
「Tool」マンチ
工具器具メンテナンスを行っています。隙間時間を組みあわせながら、各々のペースで仕事をしています。

マレットゴルフ愛好会
「小学校が廃校になり、このまま誰も来ない場所にはいけない。」との思いからつくラッセルができる5年前にマレットゴルフ愛好会を設立しました。定期的に大会が行われています。

三味線民謡 巴拉ダイス 地
芳京先生と築別自治区のお蔭で、地域の民謡や三味線を学び、定期的につくラッセルで三味線と民謡を教わっています。

Man to Man (株) サテライトオフィス
子どもが学校に行っている時間帯に近所で開催から...そんな「隙間時間」を増やすきっかけになればと名古屋にある人材派遣会社がサテライトオフィス開設、テレワークで仕事を行っています。

訪問看護ステーション かえるの家
田舎に医療を身近に感じて頂きたい思いで訪問看護ステーションを設立しました。地域の皆様が安心して自宅で過ごすことができるよう頑張っていきます。

ジェアハウス&ゲストハウス 古民家
「泊まるから住むまで」1層がゲストハウス、2層がシェアハウス。地域との関わりを深めていけるような拠点として古民家を活用しています。

ミライの職業訓練校
地元をやり大切にしたい、という思いから始まる小さな学習会。ここからはまる小さな学習会。共有の場をつむいでいます。

ミライの職業訓練校
ミライの職業訓練校。地元をやり大切にしたい、という思いから始まる小さな学習会。ここからはまる小さな学習会。共有の場をつむいでいます。

つくるラッセルお披露目会 2019年4月15日
地域のミライを つくるラッセル つくラッセル推進コンソーシアム

過疎対策プロジェクト始動 地域で学んだありがた

旭地区に移住するきっかけとなった過疎対策プロジェクト始動

日本再発進！

若者よ田舎をめざそうプロジェクト

2009年9月から2012年3月の間、都市部から募集した10名の若者が、地域の空き家、耕作放棄地を借り、農業をなりわいとした持続可能な農山村の暮らしを実践するとともに、農村コーディネータとして、人々の生活を守り、豊かな自然環境、豊かな人間関係、豊かな生活を実現するための先駆けを目指すことを目的とした事業でした。





緊急雇用対策事業として

稼ぐ農業の志向

しみる山里のホスピタリティと、期待と苛立ちと焦り

チームの崩壊

関係性の再構築

「あんたらいてくれるだけで、うれしい」

みんなで生き残っていくにはどうすればいいだろうか

暮らしをつくるはたらきかたへ

事業からでなくひとりひとりから発想する

覚悟を決めると、関係性がかわる



プロジェクト終了後

事業収入がなくなる。→ 余剰金は給料として支払い。

↓

お金があることでできることはある一方で、お金あることでできないことがある。

お金の人生をはずける生きかたに不安定さを感じていたことに気づく。本当に安心して安定した生きかたは、自分事で生きれること。

地域の命運と自分の人生を重ねて生きることが心地よい。

地元になくてもならない存在になれた時、稼ぎはついてくる



さまざまな事業を創造しはじめる。

旭には大切にしたい 当たり前の文化があった



人口減少、少子高齢化、空き家、耕作放棄地、放置林、はたらく場所、買い物弱者、介護や看取りなど、モヤモヤする課題はたくさんあるけれども、

「お互いをよく知り、かかわり、一緒に体をうごかす、おせっかいをし、あんじゃないと励ましあう」

という関わりを創り続けることで仮説が転がりだす。







テレワーク拠点
Man to Man株式会社
株式会社コングレ



山里合唱団こだま



山里手習い塾



豆っこくらぶ



山っこくらぶ





旭木の駅プロジェクト



あさひ薪研



2015年5月
小渡小原販売店
戸田新聞店スタート



里モビリティ



Nagoya Univ. Venture



夫婦仲良く!

ちよい乗りで便利だけではなく
笑顔が出る、人と人との交流が生まれる



起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどう・はたらく・つくる拠点

つくラッセル
TSUKU-RASSERU News

2024年
4月号



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々足利日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

**小原の牛乳販売店を事業継承
「ニュースとミルク 戸田販売店」に屋号変更**



令和6年1月、小原の鈴木牛乳店さんが長年やられていた牛乳配達を3月31日でやめられることをおうかがいしました。森永乳業さんとノーベルさんの牛乳や乳製品などを取り扱われていて、製造元から他にこの地域で配達してくれる人はいないかということお話しがありました。以前より小原地域内で一部のお客様へ新聞といっしょに牛乳を届けることをお手伝いさせていたこともあり、お役に立てるのならばと引き受けることにしました。

ただ、なにもぶんどり継ぎまであまり時間がなく、商品受入の準備、お客様への挨拶や確認、配達の仕事みづくり、事務の整備などやること満載。なんとか段取りして、たくさんの関係者の皆さんの協力で4月1日スタートできました。

新聞配達も牛乳配達も、流通や交通、情報が便利にたくさん流れるようになった社会構造の中で、昔と違って必要とする人は減っています。人口減少著しい山村部ではなおさらです。ただ、今なくなっていくのかというと、新聞を毎日読んでくださる皆さん、牛乳をとってくれる皆さんからは届けてもらって有難いという声も多いです。もちろん仕事として配達する人がいるからこそですが、山村では家は一軒一軒はなれているので、配達も簡単な話ではないです。でも、山村部だからこそ販売網を維持することの大切さを感じます。

今ある営みに重ねることで、長年つないでくださった意思を受け継ぎながら、次へつないでいく気持ちで、これからの地域に貢献していければと思います。

まずは、小原地域ですが、旭地域でも新聞といっしょにお届けできるように提案していければと思います。よろしくをお願いします!

**(ローカルサービス)
新聞販売店・牛乳販売店**

起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどう・はたらく・つくる拠点

つくラッセル
TSUKU-RASSERU News

2023年
5月号



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々足利日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

これからも楽しく交流 マレットゴルフ!

マレットゴルフ愛好会が始まって約9年になろうとしています。今年度から会長に後藤昇孝さんが就任されました。老若男女問わず、楽しめるスポーツですね。愛好会員以外の方でも1日200円で利用できます。ご利用の方はつくラッセルスタッフまでお声がけください。



「家の外に出て、他の方と交流する機会を増やしてほしいとの声があり、今年から定例会を毎月第1水曜日にしました。皆がふれ合い、楽しみながら交流できればと思っています。」

新しく会長に就任された後藤昇孝さん。(伊熊町)

山里合唱団こだま 9周年

つくラッセルスタッフでもある、竹内安保子さん(ソプラノ歌手)と山岡恵さん(ピアノ)率いる1ターン、Uターン者を中心に構成されている山里合唱団こだま。今年で結成9周年になります。毎月第2と第4金曜日の夕方につくラッセルで練習をしています。竹内さんに想いをお聞きました。



2014年1月に「山里合唱団こだま」は結成されました。旭に移住したM-easyの戸田友介さんと、こいけやクリエイティブの西村新さんのお二人が、合唱したいので指導して欲しいと私に依頼してくれたのがきっかけでした。二つ返事でいいよと返事をして、当時岡崎市に暮らしていた私は1時間ほどかけて太田町の福蔵寺まで通っていました。立ち上げ当初は男声合唱団だったが、お父ちゃん達が楽しそうに歌っている姿を見て、お母ちゃんたちも私も歌いたいと加わって混声合唱団に。



こだまの練習はいつも食事からスタート。御礼はどうしたらいい?と戸田さんが私に聞いてくれて、だったらご飯を食べさせてくれたらいいよと答えたのがきっかけで戸田団長の贈りご飯がスタート。

20~30人分のご飯を作ってくれ、なんだか申し訳ないなおかずを持ち寄る人が増えていき、毎回ご馳走の楽しく美味しい時間を過ごしています。同じ釜の飯で大人も子どももお腹いっぱいになった頃、そろそろ歌いますかと、そこからは本気モードの合唱練習。大人が真面目に合唱の練習をするすぐ横で、子どもたちは走り回ったり漫画を読んだり、自由に楽しく過ごしているのがこだまの風景でした。

当時は楽しく歌えればいと思っていたけれど、継続は力なりで、こだまのメンバーは少しずつ実力をつけていきました。最近は練習場所をつくラッセルの校長室に移し、よく響く空間の中、美しいハーモニを目指して割りとしつこく1音を追求する時間も取っています。

ホームの福蔵寺ご縁市はもちろん、いなかとまの文化祭や、耕Life マルシェは常連になっています。野外で合唱することが多いこだまに、もっと合唱を楽しんでもらいたくて、今年度は豊田市民クラシックコンサートにチャレンジします。豊田市民コンサートホールは全国的に見ても素晴らしい響きのホールなので、身体から発せられる声が空間に響き渡る共鳴と、舞台と客席との一体感をぜひ感じてもらいたいと思っています。このコンサートには団員の子どもたちも数人出演する予定です。父ちゃんから始まった合唱団が、いつのまにかファミリー合唱団になりました。まだまだ進化は続きそうです。ぜひコンサートホールまでこだまの合唱を聴きにきてください。



♪第25回豊田市民クラシックコンサート♪
会場：豊田市民コンサートホール
日時：2023年9月18日(月祝) こだまは14時50分ぐらいから
金額：全席自由 500円 (お問い合わせはつくラッセルスタッフまで)

**(地域コミュニティ)
マレットゴルフ
山里合唱団**

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassel.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN
オフィス 平日9:00~18:00
カフェ 平日9:00~18:00

起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどろ・はたらく・つくる拠点



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるな」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめられています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

**地元の食材で持続可能なアイスを
ミネアサヒのアイス販売開始!**



3階の元理科室で氷菓・アイスクリーム製造をされているコレカラフーズの水澤孝司さん。昨年のおつくラッセルNewsで紹介してから1年が経ちました。その際、今後挑戦したことで紹介した、お米のアイスがついに完成いたしました! 1年前と変わらぬ想いで真摯に向き合っているアイスづくりについてお聞きしました。



去年沢山の人の助けで買ったお蔭で今年も続けていけるので、真っ直ぐな気持ちでアイス作っていただけらと思っています。

コレカラフーズをはじめ当初から「糖分を入れないアイス」をつくりたいと思っていました。この地域で持続可能な食材、この土地で育てられているものは何なのか。地域の方・田んぼの維持管理をお願いされたものもかけになり、ミネアサヒでやってみよう! となりました。田んぼは初心者なので、559さんに委託管理していただき、教えていただきました。

材料はミネアサヒと雑穀だけ。濃厚な甘湯を作るイメージです。精米から様々な工程を経て2日かけてできています。甘いけど糖質と酸味を消すのに1年ぐらい試作を繰り返しました。プレーンができたので、プレーンにレモン、抹茶、桑茶などを入れて展開していきたいと思っています。現在プレーンにチョコレートを加え、カカオニブをちらした乳製品が入っていないチョコレートアイス店舗限定で販売中です!



起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどろ・はたらく・つくる拠点



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるな」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめられています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

豆っこくらぶ 2023

2022年度の豆っこくらぶも多くの方にご参加いただきました。今年は天気に恵まれ、みんなで種まきを行うことができ、いっぱい収穫できました。



味噌づくりは大豆を蒸して挑戦しました! つくラッセルスタッフによる手づくりのせいろ♪ どんな味噌になるか楽しみです。

2023年度豆っこくらぶのご案内
つくラッセルをベースに楨本町の畑で、種まきから味噌仕込みまでおこないます。毎年、小さな子どもから大人まで、地元から県内市県まで、それぞれのペースでご参加いただいています。全行程参加できなくても大丈夫です。みんなで一緒に汗を流しましょう!

料金
出来上がり味噌 5kg (惣代、体験料込)
参加料金: 1口 5,500円 (税込)
塩 500gが別途必要です。 定員 40口まで
味噌は、合わせみそ・白みそ・赤みそ・麦みそなどお好みにあわせて選べます。



お申し込み、お問い合わせは、つくラッセルまでメールまたは電話ください!

種まき	草取り	枝豆の会	収穫・脱粒	味噌づくり
6/24 (土)	7/30 8/19 (日) (土)	10/9 (月)	11/25 (土)	2/24 2/25 (土) (日)



去年も話しましたが、仕事を家族でやりたいという夢があります。子どもたちが大きくなった時にやりたい仕事ができるように、アイスを売るといっただけでも、お米をつくり、パッケージのデザイン、営業販売をしたり業務は多岐にわたります。その為にも自分がアイスという出口をしっかりとつくりたいと思っています。

【ギフトセット】
直接お声がけいただくか、オンラインで購入できます。



5/28に東秩平自転車広場で開催された、自転車交通安全教室でコレカラフーズのアイスのふるまいが行われました! 子どもたちは大喜び!

【取り扱い店舗】
豊田市 つくラッセル どんぐりの里福武 寿楽荘 足助パレット 三州足助屋敷 空飛ぶ羊 KURA



学習支援の自習会のご案内

先月号でお伝えしました、鳥崎町出身の鈴木雄也さんが学習支援の自習会を開催します。鈴木さんについては先月号をご覧ください。



日程: 7/25(月)、8/1(月)、8/17(水)、8/30(火)の4日間
時間: 13:00~17:00
会場: つくラッセル1階カフェ校長室
対象: 中学生(小学生はメールにてご相談ください)
金額: 10,000円(全日程4日間)
問い合わせ・お申込み: yuya.suzuki.yt@gmail.com (担当: 鈴木)
※必ず、事前申し込みください。メールにて個別対応いたします。

家では勉強がはかどらない人、みんなと一緒にやりたい人 etc. 鈴木お兄さんに質問もできますよ!



つくラッセルは冷房完備しています!

今年も暑いですが、つくラッセルでは冷房を完備していますので、小学生・中学生・高校生・大学生の皆さんは勉強や読書などに部屋を解放しています。部屋を利用したい場合は事務所まで声をかけてください。

【お詫び】
6月号で名前のルビを間違えてしまいました。申し訳ありません。正しくは「なりあき」さんです!

コラムはじめます!

6月号でご紹介しました、スタッフの山田尚晃(なりあき)さんによるコラムの掲載を次回号をお楽しみに!

お問い合わせ先
つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3 OPEN
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店) オフィス 平日 9:00~17:00
FAX 050-3488-9128 info@tukurasseru.life カフェ 平日 9:30~16:00
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。 つくラッセルNEWS発行担当者 つくラッセル編集者

**(1ターン起業支援)
コレカラフーズ
農産物加工品 氷菓**



アイス biraki 4/8 10:00~

麗らかな春の陽気に誘われて鳥達は囁り木々の芽は輝くであろう4月8日土曜日にアイス biraki と題した細やかなイベントを開催いたします。

私事でありますが、今季で3年目をむかえるアイスクリーム、氷菓製造所コレカラフーズは今年度よりコレカラフーズ合同会社として新しくスタートします。日頃から応援下さる皆様様に感謝をお伝えする場として、子供も大人も地元元人も稀人も交わる場として来場して下さる皆様様に楽しんで頂ける場になればと思いつながらスタッフ一同アイス biraki 開催に向けて準備を進めています。

アイス biraki は入場無料で参加して頂けますが、楽しんでいただけたら、良いイベントだな、また来年も来たいなとか思って頂けたら投げ銭、ご祝儀、協賛などを会場受付にて頂ければ次回開催に向けてスタッフ一同のモチベーションにもなりますので是非宜しくお願い致します。また今回は駐車場が築羽農科環境改善センターになり、会場がつくラッセルには駐車場ができません。宜しくお願い致します。

売にも向にも4月8日は春の訪れをつくラッセルで皆様と喜び、楽しむ一日となる事を願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

【日時】 4月8日土曜日 10時~
【場所】 つくラッセル
【駐車場】 築羽農科環境改善センター
【入場】 無料投げ銭大歓迎
【ステージ】 プルタタ、ジャイアントステップス、マウンテンメンテナンス、マンダダ
【その他】 出店、ワークショップ多数

大学生 地域との関わりの中で

3月19日、2022年度地域で学んだ学生4名の活動・研究の発表会を行い、多数の地元住民のかたにもお越しいただきました。農校利用の研究をした太田さんは、つくラッセルにある1階の休息スペースの存在に着目して、新たな活動がうまれるということに気づきまとめていました。来年度から新たな道を進む中でも、つながりができた地域にこれからも通いたいと話をしてくださいました。



右から順に
名古屋大学大学院社会学部心理教育学科 上田光太郎さん
名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻 太田匡哉さん
名古屋大学大学院環境学研究所地球環境科学専攻 植山光樹さん
大阪市立大学生活学部都市環境学専攻 藤山奈央さん

お問い合わせ先
つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3 OPEN
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店) オフィス 平日 9:00~17:00
FAX 050-3488-9128 info@tukurasseru.life カフェ 平日 9:30~16:00
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。 つくラッセルNEWS発行担当者 つくラッセル編集者

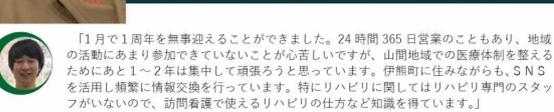
**まめっこくらぶ
関係人口づくり
農地活用**

拠点をつくりだす みんなのやりたいを呼べる つどう・はたらく・つくる拠点

「つくラッセル」は、「あのじいちゃん、まようつくらせるな」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせよう、つくラッセルよりお届けします。

訪問看護ステーション「かえるの家」1周年

つくラッセル3階に訪問看護ステーションかえるの家が開業してから1月で1年が経ちます。現在旭・小原・屈丈・藤岡・足助地区を訪問されており、約18名の利用者さんがいらっしやいます。運営する後藤真也さん(29)・亜利沙さん(28)ご夫婦、またお二人の専門学校の同期であり、スタッフの市川志穂さん(28)にお話を伺いました。



訪問看護が新しくなりました! 刺繍は亜利沙さんのデザインです!

「1月で1周年を無事迎えることができました。24時間365日営業のこともあり、地域の活動にあまり参加できていないことが苦しいですが、山間地域の医療体制を整えるためにあと1~2年は集中して頑張ろうと思っています。伊熊町に住みながらも、SNSを活用し頻りに情報交換を行っています。特にリハビリに関してはハビリ専門のスタッフがいないので、訪問看護で使えるリハビリの仕方など知識を得ています」

「まず利用者さんが来てくれてホッとしています。利用者さんと関わることで、山間地域の医療が行き届いていないことを実感しています。受診ができない、今まで通り服薬ができないなどのジレンマ抱えつつも生活をされています」

また山間地域での生活環境の変化をご家族では気がつきにくいこともあり、訪問看護が入ることで予防に繋がります。「家で暮らしたい」という利用者さんの願いにこれからも向き合っていきます」

「1年間働いて、『家にかえる』という選択肢を提供できたのはよかったです。実際に、在宅での現状課題もみえ、課題は山ほどありますが、これからは選択肢の1つに訪問看護があるということなので安心していただければと思っています」



看護師の巻き爪専門サロン

看護師の巻き爪専門サロンは現在自宅(伊熊町)にて行っています。訪問看護でも施術可能です。これまでに20~50代の若い方も利用されています。爪のトラブルで歩けなくなるケースも多く、爪の健康はお身体全体の健康に繋がります。病院で手術する前に一度ご相談ください。

12月末まで初回2,000円オフキャンペーン中!!

地域の暮らしの保健室

毎週火曜の午前中に地域の暮らしの保健室というお悩み相談会を行っています。本当に家で過ごせるのか、施設で暮らすとどうなのか、今後の治療方法や透析をつくるべきかなど看護師に相談してみたいことがあればご活用ください。※予約制になります。ご希望の方はつくラッセルスタッフにお声がけください。

訪問看護・巻き爪・ご相談など連絡先はこちら!

きく結び 検校

TEL 050-8882-4212

訪問看護ステーション かえるの家

看護師の巻き爪専門店

スタッフ募集のご案内はこちら!

年末の挨拶

2022年も残りわずかとなりました。自然とともに、地域とともに、かわるすべての人たちとともに、どう暮らし向き合っていくか、模索しながらの毎日です。おかげさまで、たくさんのご縁に支えられて、今があります。これまでのこと、これからのことを最近noteというサイトで綴っています。不定期更新になりますが、よければ以下のQRコードからのぞいていただければと思います。これからも柔軟に変化に富んだありかたたくさんの方と共有しながら、できることをできる限り取り進めたいと思います。2023年もよろしくお祈りします

株式会社 M-easy 代表取締役 戸田友介

【年末年始のお休み】12月29日(木)~1月4日(水)までお休みです

(若者起業支援) 訪問看護ステーションかえるの家 孫ターン人材

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3 OPEN オフィス 平日9:00~9:30
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店) カフェ 平日9:30~
FAX 050-3488-9128 info@tsukurassell.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。 つくラッセル NEWS 発行編集者 つく

拠点をつくりだす みんなのやりたいを呼べる つどう・はたらく・つくる拠点

「つくラッセル」は、「あのじいちゃん、まようつくらせるな」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせよう、つくラッセルよりお届けします。

「日帰りから宿泊の田舎暮らし体験、お試し居住、2拠点居住から、本格移住まで」つくラッセルとも連携しながらトータルサポートします!

2022年8月号で紹介した「多世代シェアハウス&コミュニティスペース ころっせる」は1階がゲストハウス、2階がシェアハウスの「泊まるから住むまで」古民家こらっせるとして舵をきることになりました。住掛け人は2022年1月からは名古屋市と旭地区との2拠点生活をしている上田光太郎さん(名古屋立大4年生)、ゲストハウスは観光での宿泊、シェアハウスは短期~中期の移住としての活用を予定しています。古民家こらっせるについて上田さんにお聞きしました。

こんにちは、上田光太郎です。「泊まるから住むまで」古民家こらっせるを開業しました。

こらっせるの管理人として、根本町の常会や祭りにも参加させてもらうことで、これまで遊びに来て「泊まっている」のから「住んでいる」に変わったことで、心境の変化がありました。僕と同じような体験を通して、地域との関わりを深めていけるような拠点になればと思っています。お披露目会お待ちしております!

7/15(土) お披露目会開催! 詳細は裏面▶

古民家こらっせるお披露目会

日時: 2023年7月15日(土) 10時~17時
※時間内に、いつでもお立ち寄りください。

会場: 古民家こらっせる(豊田市橋本町折本10番地)
駐車場: 築羽農村環境改善センター(築羽会館)
※会場に駐車場はありません。お車は築羽会館に停めて歩いてお越しください。

内容: 10時からテープカット、内覧会、その後BBQやテントサウナなど懇親会を行います。
※BBQの食材や飲み物をお持ちください。
※テントサウナをされた方は水着やタオルをご持参ください。

申込: 不要

山里手習い塾 楽しい和紙づくり

こんにちは、つくラッセルスタッフの山岡恵です。皆さん、愛知県で最初に和紙を作り始めたのは、実は旭地区ってご存知ですか? 「そのことをぜひ旭にお住まいの方にも知って欲しい、和紙づくりの楽しさを体感して欲しい」と佐藤先生の想いに共感し、今回講座を開催することとなりました。国内外でご活躍されている佐藤先生の講座です。ご参加お待ちしております!

日時: ①2023年8月7日(月) 10時~12時
②2023年8月11日(金祝) 10時~12時

集合: カフェ校長室(外での作業もあります。帽子などの熱対策もお待ちください。)

定員: 各回10名まで
参加費: 500円
持ち物: タオル、和紙に挟みこむもの3点程度(つるつるした素材や重たいものでは難しいです。)

服装: 濡れにくい服装
申込: 電話もしくはスタッフに直接申込みください。

講師: 佐藤友泰(さとうともやす)先生
紙士(和紙研究者) 愛知県立芸術大学非常勤講師
有間町在住 下切、島崎にも工房兼作品展示場あり
2009年からフランスパリ、チェコプラハ、フランスニース、アメリカニューヨークなど海外にて作品展やワークショップを多数開催。

(若者起業支援) 古民家こらっせる 泊まるから住む

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3 OPEN オフィス 平日9:00~17:00
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店) カフェ 平日9:30~16:00
FAX 050-3488-9128 info@tsukurassell.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。 つくラッセル NEWS 発行編集者 つく

地域でお仕事をお探しの方へ

あさひ小仕事バンク

をぜひご利用ください!

子どもを預けているスキマ時間で働きたいな

夏休み&冬休み中バイトしてお小遣いを稼ぎたい!

移住を検討中。地域にどんな仕事があるか知りたい

「あさひ小仕事バンク」は、旭とその周辺エリアの求人情報や仕事、人の情報を発信している地域メディアです。WEBサイトと公式LINEより求人情報を配信しています。もちろん登録無料、お気軽にご利用ください!

1日2時間~短時間OK!

60歳以上大歓迎!

公式LINE登録キャンペーン!

公式LINEにご登録の上、アンケートにお答えいただいた方にコレカラフーズのアイスキャンディーをプレゼント!

お問い合わせ つくラッセル あさひ小仕事バンク事業部 0565-77-2722

地域の会社・事業者の皆様へ

あさひ小仕事バンク

に求人情報を掲載しませんか?

掲載費・紹介料 無料!

「あさひ小仕事バンク」は、旭とその周辺エリアの求人情報や仕事、人の情報を発信している地域メディアです。掲載費・紹介料などはすべて無料! お気軽にお問い合わせください。

人手不足でお困りの事業者さまを応援します!

「あさひ小仕事バンク」の特徴

- マッチング率 **63.2%**
- 単発・短期間の募集もOK!
- 小原・定助など周辺エリアも大歓迎!

ご利用の流れ

- 「あさひ小仕事バンク」に掲載希望の旨をご連絡ください 0565-77-2722
- 取材の日程を調整します(取材費・掲載費は無料です)
- 取材・写真撮影(1時間程度を予定しています)
- 記事をご確認いただいた後、「あさひ小仕事バンク」HPに求人情報を掲載します
- 興味のある方から事業所に直接連絡があります

お問い合わせ つくラッセル あさひ小仕事バンク事業部 0565-77-2722

(行政共働事業)

あさひ小仕事バンク

地域の仕事紹介

UIターン人材

つくラッセル News 2023年2月号

先人が植えてきた木を大切に 木の持ち味を生かした木工製品を作りたい! ~2年目の活動を振り返る~

つくラッセルの木工室を活動拠点としている「間伐材木工研究会」は間もなく活動3年目を迎えました。間伐ボランティアとして森に入り作業を行う中で、間伐材の多くが木材として十分使えるにも関わらず、山に放置されてきました。活用されていない様子を目の当たりにし、「先人が子孫のために大変な思いをして植えてきた木をもっと木工製品として大きく永く使ってもらいたい」との想いから、研究会を立ち上げられました。

活動2年目の2022年度は、藤岡交流館での木工教室の開催(3回)と個別の依頼に基づく製品づくりを行いました。今後はつくラッセルでの木工教室や木工製品の販売も視野に活動を充実していく予定です。

藤岡交流館での木工教室の様子。10月は椅子、1月に道具箱を制作しました。

個人依頼の製品の一例をご紹介します。左の写真を引き出し収納、本棚、収納付きレンジ台、折りごたつの足置き。

2月17日(金)に数島小学校6年生の木工体験実施の様子は裏面をチェック!

数島小学校6年生がつくラッセルで木工体験

2月17日(金)に数島小学校6年生7名の間伐材木工研究会による木工体験をつくラッセル木工室で実施しました。数島小学校では毎年、地元のスギやヒノキの森の木の混み具合などを調べる「森の健康診断」を実施し、間伐の必要性について学んでいます。学習を終えた生徒達から「間伐された木をどのように使うのか木工についても勉強してみたい」との声があり、今回のイベント開催となりました。

今回製作したフォトフレームは、四隅を直交にすき間なく接合しなければならず、かなり難しいテーマでしたが、ノコギリや丸ノコと切断用の治具を使い、きれいに仕上げることができました。代表の杉田さんは「木の温もりが感じられる木工製品の良さや、木工の楽しさを学んでいただけたのではないかと思います。小学校時代の思い出と共に永く使っていただけたら嬉しいです」とおっしゃっていました。

若者活動発表会 ~私たち地域で学ばせてもらいました!~

2022年度、旭・旭東地区に違い、地域も皆さんとかわりながら学ばせてもらった活動や研究を発表します。関りがあったかたも、はじめてのかたも、ぜひ一緒に地域でつくる学びや、若者とも関わりについて考えるきっかけにしましょう。

日程: 3/19(日) 13:00~17:00
場所: 体育館
備考: 13:00-13:30にデュオルリオンによるオープニングアクトの演奏会があります。
懇親会: 終了後、希望者のみ懇親会を予定しています。(懇親会は会費制、会場は「こらっせる」、時間は18:00~20:00)
対象: 中高生以上全年齢対象です。お気軽にご参加ください。
申込: QRコードを読み取り、もしくはつくラッセルスタッフまでお声がけください。予約がなくてもご参加いただけます。
人数把握のため、予約いただけると幸いです。
主催: M-easy/三河の山郷コミュニティパワー

(シニア活躍)

間伐材木工研究会

学びと森林活用

駄息をつくりだす みんなのやりたいを呼べる つどう・はたらく・つくる拠点



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名の通り「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

おいでん・さんそんセンター 相談窓口 つくラッセル1階に移転しました。



おいでん・さんそんセンターはこんな役割を担っています

- 1 都市と山村をつなぐ 総合相談窓口
- 2 交流マッチング
- 3 プラットホーム会議
- 4 集落活動応援隊
- 5 移住定住サポート

詳細はホームページから



8月1日、おいでん・さんそんセンターの相談窓口がつくラッセル1階に開設されました。

おいでん・さんそんセンターは2013年8月8日、ひととひと、まちといなか、地域と企業をつなぐ都市と山村の交流コーディネート事業を行う中間支援組織として誕生し、現在は、一般社団法人おいでん・さんそんにより運営されています。この10年間、人口減少・超高齢社会に向き合っていくために「つながる力」で、さまざまな相談への対応、マッチング、情報発信等をおこなってきました。今回、つくラッセルという場と重なるとともに、この広い豊田市の市域に対応するために、足助、稲武、小原、下山、旭それぞれに地域エージェントをおき、より地域密着した互いに学び合う営みに育んでいきます。

小原支所にて出張相談の様子



一般社団法人おいでん・さんそん
代表理事 戸田友介 (2023年5月23日就任)

→地域エージェントへのご相談はこちらから!

コレカラファーズ

子どもがお小遣いで買える
アイスキャンディーを目指して



3年目を迎えるアイスクリーム、水産製造所コレカラファーズは今年度よりコレカラファーズ合同会社として活動されています。

カップアイスははじめ、アイスキャンディーも日々改良されています。水産さんは「子供がお小遣いで買えるような価格、それだけで素材の味が活きた生産者、生産者と繋がるような無添加アイスが作りたい。昨年目標に掲げたことを着実に実践する1年にしたいと思っています。」とおっしゃっています。つくラッセルで扱っているアイスキャンディーの種類はみかんで1本200円(税込)で販売しています。



山里手習い塾 楽しい和紙づくり

8月7日と11日に紙士の佐藤 友幸先生による楽しい和紙づくり講座が開催されました。座学や実際に型に原料を流し込み、和紙をつくる体験を行いました。参加者は和紙にオリジナルのデザインをしたり、大きな和紙に水滴を落とし模様をつける落水を体験しました。地域の皆さんに佐藤先生がされている和紙作りについてもっと知ってほしいと思うひと時でした。



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassel.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN
オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセルNEWS発行編集者 つくラッセル編集コンソーシアム代表 戸田友介

おいでん・さんそんセンター

おいでん・さんそんセンターの取組



1 都市と山村をつなぐ 総合相談窓口

山村地域への移住定住、都市と山村の交流に関することなど、幅広い相談ができる総合相談窓口を設置しており、気軽に相談ができます。

- 相談員・地域相談員を設置
- 対面、電話、メール、オンライン等により随時相談を受け付け



おいでん・さんそんセンター



【相談員】戸田友介



【相談員】高木伸泰



【相談員】大石修貞



【相談員】鈴木孝典



【相談員】木下貴晴



【相談員】西村新



【相談員】鈴木謙也

おいでん・さんそんセンターの取組

2

交流マッチング・ コーディネート事業

都市と山村の相互の課題解決につなげるため、都市部の企業、団体等や山村部の地域や団体等。新たな組み合わせによるマッチングとコーディネートを行います。



例えばこんなマッチング



おいでん・さんそんセンターの取組

4

とよたの山里応援隊募集事業

地域活動の実施が困難な山村地域の集落に、集落活動を応援するボランティア隊員を募集しています。

3

集落活動サポート事業

地域の担い手不足により実施が難しくなった草刈り等の集落活動やまちづくり活動の実施が困難な山村地域の集落を対象に、地域の一員として活動に参加する登録ボランティアを派遣しています。



みんなで山村地域を盛り上げよう!

とよたの山里応援隊 [登録制度]

隊員募集

豊田市の山村地域での集落活動と一緒に活動するボランティアを募集します。
山村地域でボランティアがしたい人、自然や人とふれあいたい人、
何か社会貢献がしたい人、そんなあなたの参加を、心よりお待ちしております!

おいでん・さんそんセンターの取組

情報発信事業 <https://www.oiden-sanson.com/>



ようこそ！「私」の物語をつむぐ

自分を見つめる、今の時代の生き方を考える、仲間ができる



山里ひとなる塾

「山里ひとなる塾」では、豊田市山村集落をフィールドに、地域へどっぷり浸かる生の経験、本気で地域と向き合う先輩との対話、仲間たちとの語り場を通して、これからの人生への向き合い方を学びます。



こんな力が身につきます

- 体感する学び**
地域の人や自然と触れ合い、五感で感じることを通じて、普段の生活ではえられない経験を重ねていきます。気づきやひらめきは自分の視野を広げてくれます。
- 自分との対話**
今までの人生を一度整理してみ、これからの人生を考えます。先輩の失敗等から新しい視点が得られます。誰かに決められるのではなく、自分の手で人生のモノガタリをつくり出します。
- 地域とのつながり**
心のふるさどができます。新天地になるもよし、ときどき訪れるもよし、人との出会いが生まれます。
- 仲間づくり**
グループワークやシェア会、合宿を通して、認め合い支え合う仲間ができます。

人生というモノガタリを自ら創り出す力

地域を支える力

志を共にする仲間

塾長よりメッセージ

2010年に豊田市旭地域に移住し、地に足を付けて、自らの足で歩むことを決心したとき、たくさんのご縁が自分を支えてくれたことに気づきました。地域で暮らし、つとめ、はたらく中で、一人ひとりの暮らしそのものが目の前の風景になり、地続きで社会がつくられていることを実感しています。

歴史と文化を受け継ぎながら、時代にあわせて変化しながら向き合う営み、体をおして得られる経験は、先行きが不透明な社会の中で、自分らしく自らの人生をつくっていくための大きな糧となります。

豊田市の山村地域では、地域とがらちで向き合う地域仲介人が集落への道しるべとなっていきます。本講座では、地域へ入る作法、先輩から学ぶ社会事業づくり、実数学などを学びながら、自らの人生の物語をつむぐ対話を繰り返し行います。

できることから、できることをやっていきましょう。人生の主人公は自分自身です。私たちが全力で応援します。

塾長 戸田友介

この講座に参加して自分自身について考える時間ができました。自分が地域に入ることでのモチベーションにつながるものがわかって安心しました。

1期生 なのがちゃん(学生)

たくさんの人に出会い、やりたいことがいっぱい出てきて、興味のおもむくままに、あれこれやりました。けれど、当初からやりたかったことがプレッシャーと出てきて、自分でもびっくりしました。

1期生 モリゴン(自営業)



大野瀬町

面積 1,664ha
人口 1446人
世帯数 78世帯

地域仲介人 大山泰介さん、賀記さん

活動: 夏の花の収穫体験、秋の祭りとふれあいまつり

市場町

面積 192ha
人口 118人
世帯数 49世帯

地域仲介人 西尾和也さん

活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

福民地区

活動: 夏の花の収穫体験

小原地区

活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

羽布町

面積 1,477ha
人口 162人
世帯数 64世帯

地域仲介人 川合真裕さん

活動: 環境美化活動、夏の花の収穫体験

東秋平町

面積 180ha
人口 70人
世帯数 31世帯

地域仲介人 安藤征夫さん

活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

旭地区

活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

下山区

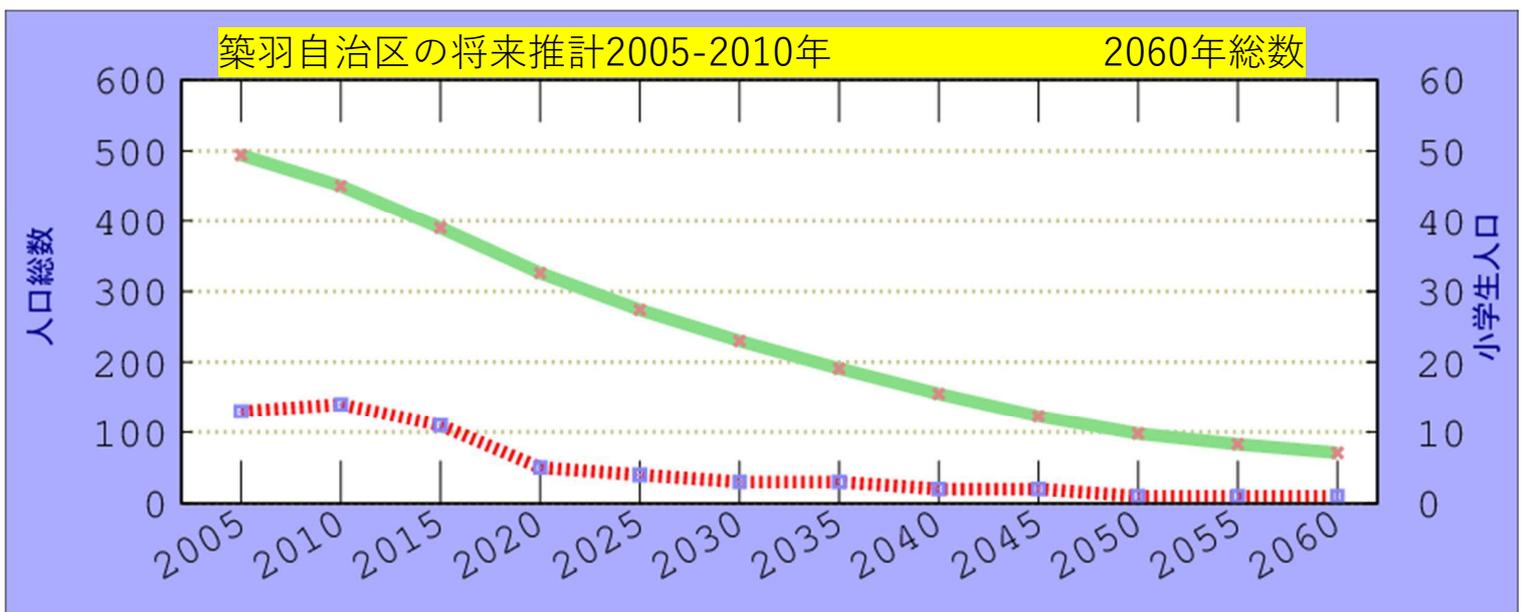
活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

東秋平町

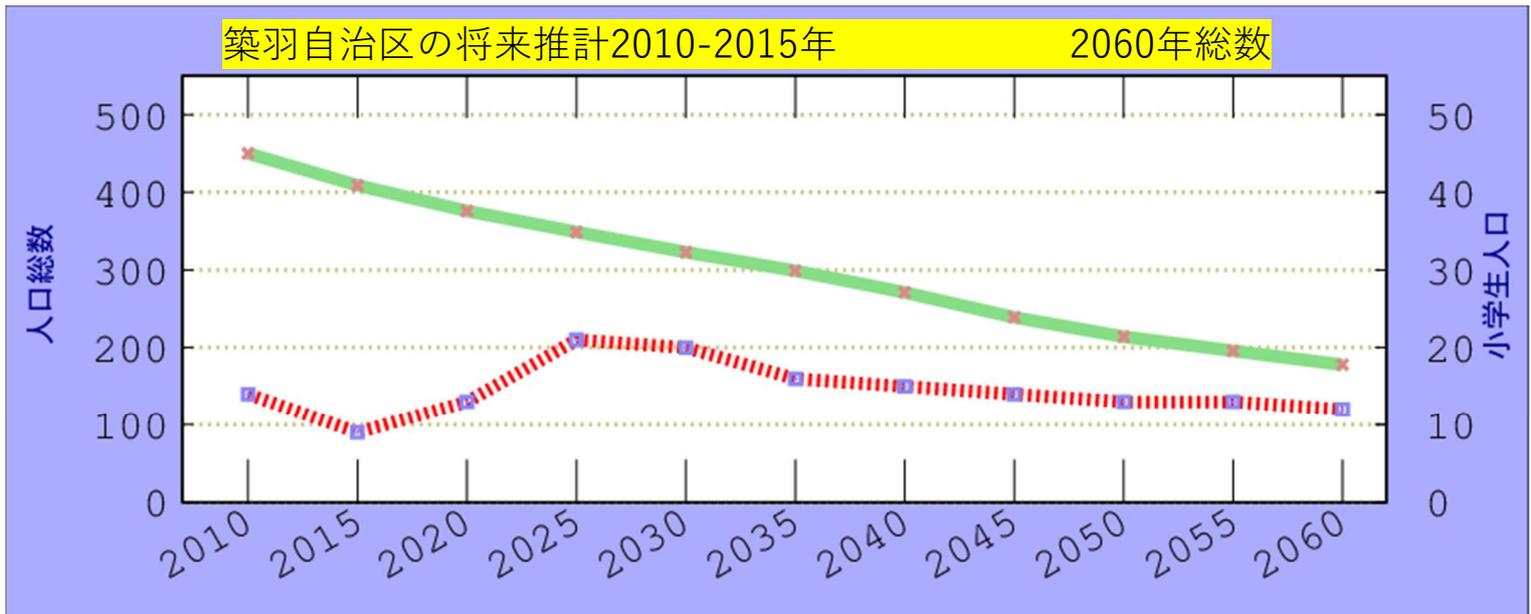
活動: 秋の祭りの準備のしめ縄づくり

まわりはじめる小さな兆し

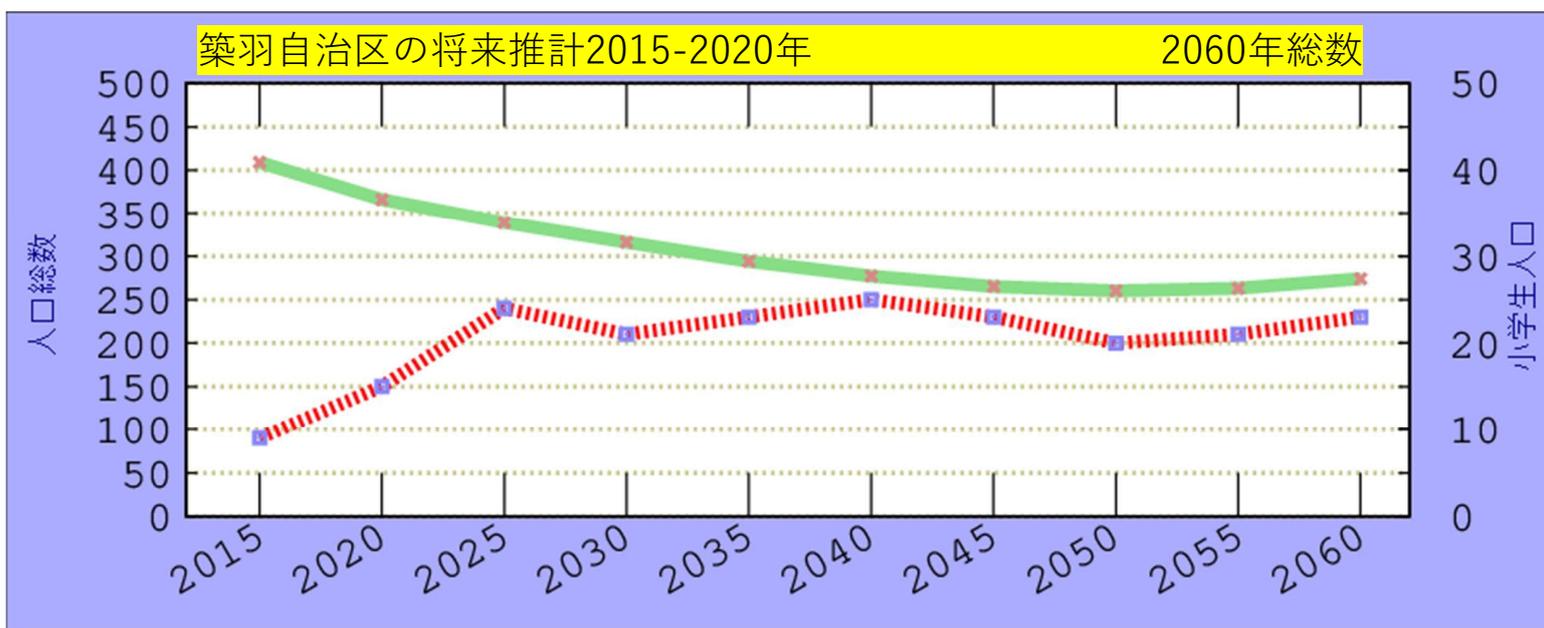
Population Projection of Tukuba district “2010”



Population Projection of Tukuba district “2015”



Population Projection of Tukuba district “2020”



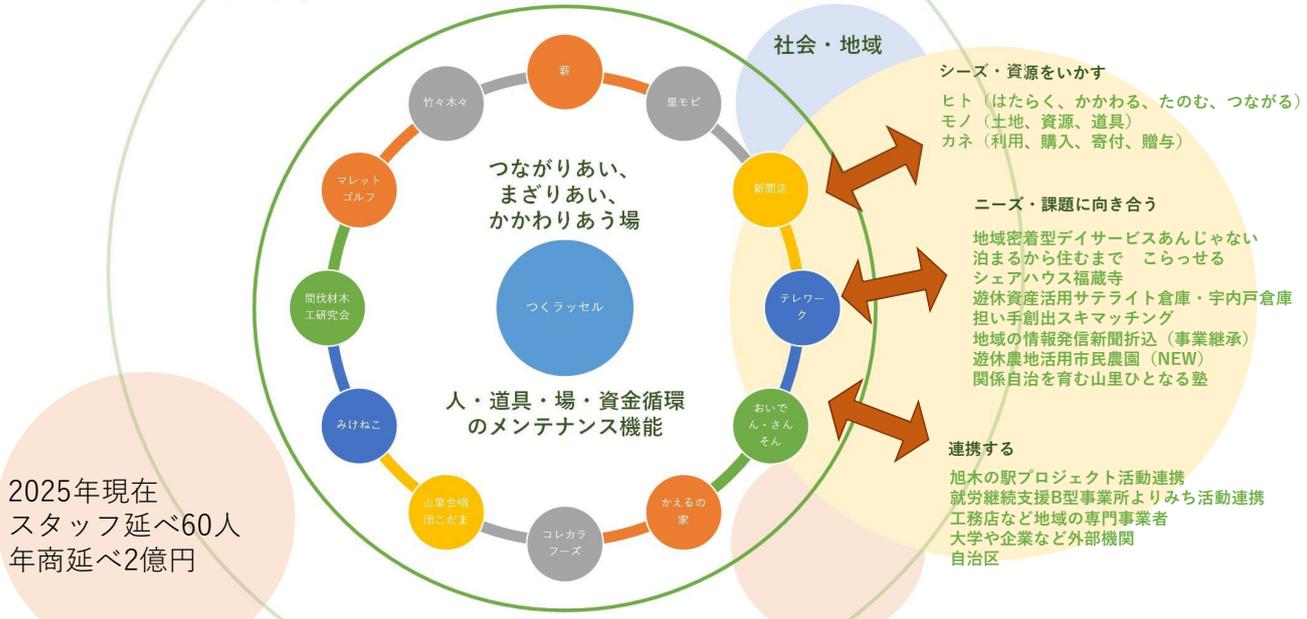
コミュニティもビジネスも支えるつくラッセルの機能

<コンセプト>

社会関係資本（つながり・人）と、地域資源（自然・土地・施設）の価値循環を創造することで、未来につながる暮らしをつくる関係性創造拠点

<機能>

ひとりひとりが励まし合い、支え合う関係性を育み続けられるように、人・道具・場・資金循環のメンテナンスを株式会社M-easyが担当する



冬は雪遊び場にもなります♪
ご清聴ありがとうございました。

